

施工手順書④-3

クローゼット

スライド片開き戸

ステルス枠 施工手順書一覧

共通

※シリーズ専用以外の共通編の施工手順書は工事内容別で下記の①、②、③に分かれています。
 ※マルコシリーズの2・3枚引違い戸(上吊)、2枚引込み戸(上吊・連動)は共通編をご覧ください。
 ※本書の準耐火仕様とは、ご注文の際に当社の「準耐火仕様」を選択した場合に限ります。

①木工事

①-1.木工事・標準仕様 / ①-2.木工事・準耐火仕様

②クロス・塗り壁工事

③扉・金物の取付

③-1. 開き戸

③-2. 片引き戸(上吊)、ポケット戸(上吊)、2枚引違い戸(上吊)

③-3. 2・3枚引込み戸(上吊・連動)、3枚引違い戸(上吊・連動/非連動)

③-4. 片引き戸(床付レール)

シリーズ専用

※シリーズ専用の施工手順書(④~⑨)は木工事、クロス・塗り工事、扉・金物の取付が一式含まれます。

④クローゼット

④-1. 折れ戸 ④-2. 物入片開き戸、両開き戸、物入4枚・6枚開き戸

④-3. スライド片開き戸

⑤オートマチックドア

⑤-1. 片引き戸(上吊)

⑥ヴェトロ

⑥-1. アウトセット片引き戸(上吊) ⑥-2. 開き戸

⑦カエサル

⑦-1. スイングドア、サイドガラスユニット

⑧マルコ

⑧-1. 3枚引込み戸(上吊・非連動) ⑧-2. 2枚引分け戸、4枚引違い戸(上吊)

⑨フィット

⑨-1. スイングドア ⑨-2. 片引き戸(上吊) ⑨-3. 2枚引違い戸(上吊)

施工を担当される方へ

安全のために必ずお守りください



● 施工前にこの手順書をよく読み、正しく施工してください

- 枠・下地枠の取付は、水平・垂直・ねじれがないかを必ずご確認し、確実な固定を行ってください。
- 本製品の組み立てで付属ビスがある場合には、必ずそのビスを使用してください。
付属ビス以外で取り付けた場合、部材の脱落や枠のゆるみ等が発生する恐れがあります。



● ケガや事故防止のため、以下の事項を必ずお守りください

- 風の強い場所では開き戸が強く閉まるなどして手をはさむ恐れがありますので、扉を開け放しにしないようご注意ください。
- 運搬作業時は滑り止めの手袋を着用し、扉建て付け時には十分気をつけて行ってください。



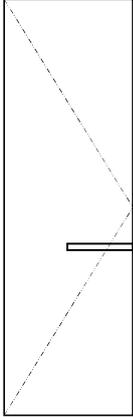
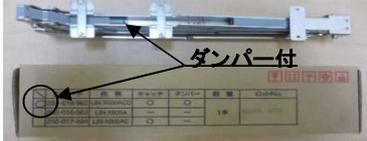
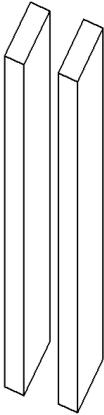
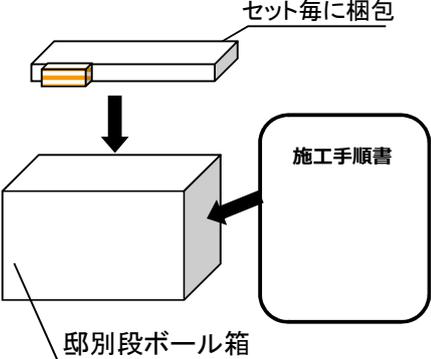
● 施工前及び施工時の確認

- 本製品は屋内用ですので、屋外や水がかりする箇所には使用しないでください。
- 本製品は内装扉を用途とする商品です。他の用途として使用したり、本手順書と異なった施工をした場合の保障は当社では責任を負いかねます。
- 高温・高湿の環境条件では使用できません。
- 施工前に部材の数量・キズの有無をご確認ください。
施工後のキズについては当社では責任を負いかねます。
- 部材を保管する場合は湿気・直射日光を避け、十分な養生をしてください。
- 開口部または枠の寸法を測り、躯体または枠が正確に施工されているか、ご用意の扉サイズが適切かどうかご確認願います。
- 施工時に電動ドライバーを使用する場合は、カラモミを防ぐため最後の締め付けは必ず手締めにて行ってください。
- 扉の調整の際には、電動ドライバーは絶対に使用しないでください。
ビス類が破損し、調整できなくなることがあります。
- 扉や枠の表面に、長時間テープを貼らないでください。汚れ・破損・色ムラの原因になります。
また、突き板塗装ドアの場合、塗装仕上げ面には絶対にテープを貼らないでください。

● 施工後の処理

- お施主様への引渡し前に、工事管理者が必ず点検を行い、不具合箇所を補修してください。
- 施工後はキズが付かないように養生してください。
このとき、表面にテープを直接貼らないでください。
また、突き板塗装ドアの塗装仕上げ面には絶対にテープを貼らないでください。
- 清掃の際は水を固く搾った布で汚れを落とした後、柔らかい布で乾拭きしてください。
また、汚れが落ちにくい場合は、薄めた中性洗剤で汚れを落とした後、洗剤が残らないようによく拭き取ってください。
- 内装工事が終了するまでの間は、扉をはずして保管されることをお勧めします。

□納品形態

扉と同時に納品されるもの									
建具	建具同梱金物								
	<p>ヒンジ本体セット(ダンパー付)</p>  <p>ダンパー付</p> <p>ヒンジ本体セット(ダンパー無)</p>  <p>ダンパー無</p> <p>ダンパー有無での○の位置</p> <table border="1" data-bbox="1286 439 1469 689"> <tr> <td>○</td> <td>注文コード</td> </tr> <tr> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> </tr> </table> <p>連結ロッド</p>  <p>連結ロッドカバー</p>  <p>取手</p> 	○	注文コード	●		○		○	
○	注文コード								
●									
○									
○									
下地枠と同時に納品されるもの									
下地枠	下地金物箱								
 <p>縦枠下地×2本 ※枠取付用下穴加工済み ※座金取付用下穴加工済</p>	<p>セット毎に梱包</p>  <p>施工手順書</p> <p>邸別段ボール箱</p>								

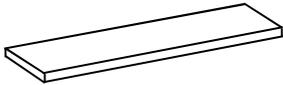
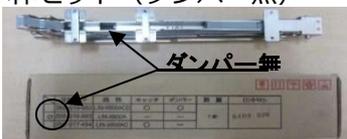
□スライド片開き戸

forステルス枠

施工手順書2022/8改訂

□金物箱、建具の梱包内容

下地金物箱		スライド片開き戸
取付ビス 	H24	8本
細径φ3.3×50 座 金 	H24	4ヶ
化粧キャップ 	H24	4ヶ

建具及び同梱金物		スライド片開き戸
建 具 	H24	1枚
取 手 	H24	1ヶ
ヒンジ本体セット (ダンパー付) 	H24	3ヶ
ヒンジ本体セット (ダンパー無) 	H24	1ヶ
連結ロッド 	H24	1本
連結ロッドカバー 	H24	2ヶ

施工前の確認事項

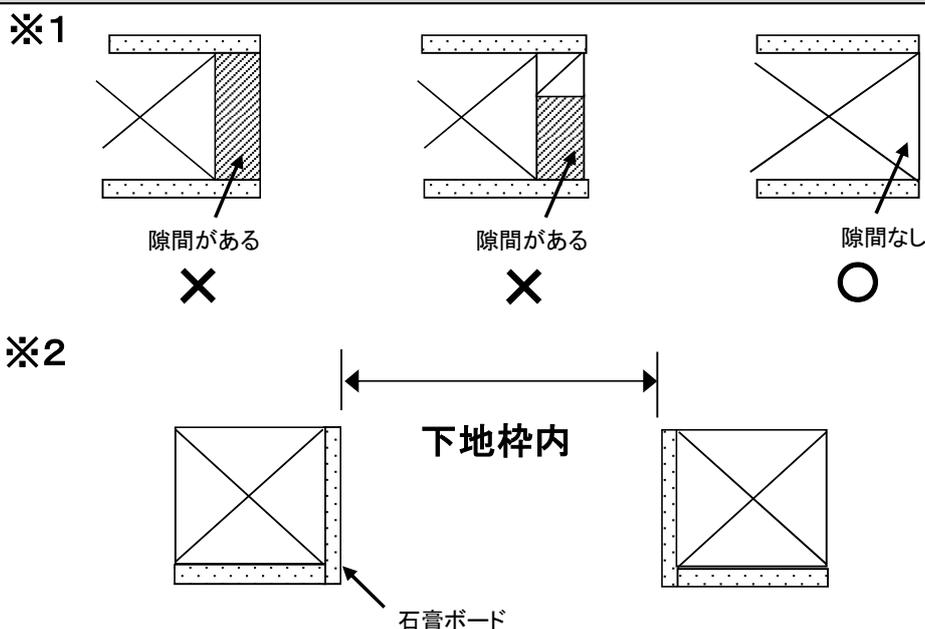
上枠下地・見切り材を取り付ける前に、開口部の巾（図面：下地枠内ボード内）と、高さ（図面：床仕上げ～開口高さ）の確認をしてください。
（見切り材は床仕上げ面からの立ち上がりとなっているので注意してください）

【注意事項】

※1 見切り材は石膏ボードと面接合するように取り付けますので、石膏ボードの裏側部分には必ず木材を全面に入れておいてください。

※2 施工前のW寸法確認には、図面上の下地枠内寸法（ボード内）を確認してください。

※開口部（柱・まぐさ等）の水平・垂直・前後の倒れ・ねじれ等がないか、水平器等で十分に確認してください。



縦枠の取付け

柱に石膏ボードを取付けます。見切り材を石膏ボードの上から面付けします。

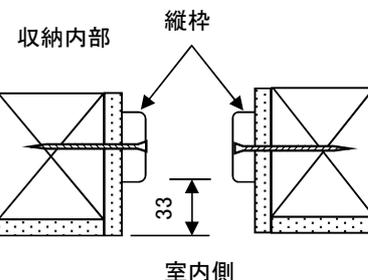
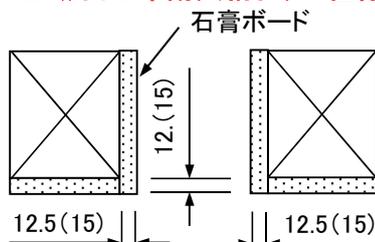
取付位置はボード面から63mm入った所に取付けます。その際、上枠下地と見切り材の端が合うように取付けてください。

<石膏ボード厚>

標準：12.5mm

準耐火仕様：15mm

※()内は準耐火納まりの仕様です。



縦枠は正寸カットで納品していますので現場にてカットしないでください

※縦枠の裏側が柱ではない場合、裏からビスが出ないよに注意(ビス長さ:50mm)

ポイント

※縦枠は石膏ボードの上から直接取付けてください。

※収納内部に棚を設置する場合は、縦枠よりも裏側の位置に取り付けてください。

※見切り材の裏が柱ではなく、壁等になっている場合ビスが突き出ないか確認してください。

シンプル幅木コーナー役物・取付け時の注意点

幅木を接着剤で見切り材まで回して取付けてください。
接着剤はVカット部も接着剤を塗布してください。



接着剤全面塗布
(推奨：酢ビ系)

幅木の取付け方

幅木コーナー役物のVカット部も接着剤を塗布して下さい。

ポイント

※必ず幅木のVカット部分に接着剤を塗布してください。幅木が割れる恐れがあります。

クロス施工

石膏ボード等の接合部分にメッシュテープを貼り、パテ処理（下塗り・上塗り）2回をする。
クロスを巻き、縦枠で見切るようにして貼る。



メッシュテープ

パテ処理

クロスを縦枠で見切る

ポイント

金物取付

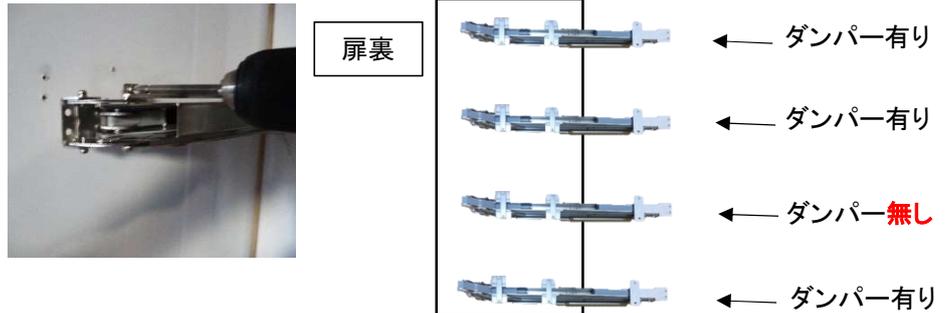
【枠側】

枠に座金を取り付けます。あらかじめ下穴がいておりますので、付属のビスにて取り付け、最後は手動ドライバーでもって完全に固定してください。
座金は下地金物箱に同梱されていません。



【扉側】

スライド丁番本体を取り付けます。その際、スライド丁番にはダンパー付とダンパー無しがありますので、下から2番目のみダンパー無しを取り付けて下さい。
スライド丁番は建具金物箱に同梱されています。



スライド丁番が取り付けいたら吊元側に近いビスを緩め（1個に付4箇所）連結ロッドを差し込みビス固定します。（その際、上部と下部の出が等しくなる位置でビス固定を行ってください）



※ビス固定の際は、ビスを垂直に挿入して固定してください。
※電動ドライバー等で強く締めすぎるとビス頭が潰れてしまう恐れがありますので、トルク調整に注意し、最後は手締めにて完全に固定してください。
ポイント
※吊元側のみ座金の下穴加工がされています。
※電動ドライバーで強く締めすぎるとビス頭が潰れてしまう恐れがありますので、トルク調整に注意し、最後は手締めにて完全固定してください。
※スライド丁番のダンパー無しは下から2番目に付けてください。
※連結ロッドを差し込む際、扉を横にねかし必ず溝内に差し込んでください。

建具の吊り込み（2人以上で）

枠側の座金の上下調整のビスを緩め、座金のくぼみ部分にスライド丁番裏側の掛かり部分を引っ掛け、パチンという音を確認してください。（その際、床と扉の間に9mm程度のあて材を入れて行ってください）

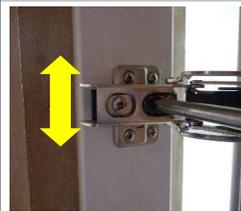


ポイント
※建具の上下の取り違いにご注意ください。
※建具の吊り込みは必ず2人以上で行ってください。
※スライド丁番と座金は、パチンと音が鳴るまでしっかりと押し当てて装着してください。

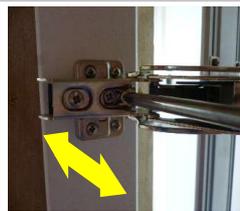
スライド丁番の調整

建具吊り込み後に調整が必要な場合は、図の手順に従って調整してください。調整の際に電動ドライバーは使用しないでください。調整は建具を吊ったままの状態で行えます。

(床と扉の間にかいものを使用すると調整が楽に行えます)



上下方向の調整
4ヶ所全ての丁番のビスを緩め
上下にスライドさせる



左右方向の調整
時計回し → 吊元側に寄る
反時計回し → 戸先側に寄る



前後方向の調整
ビスを緩めて丁番を前後に
スライドさせる

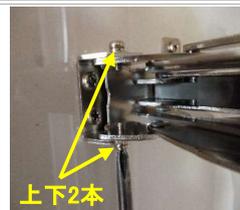
【調整範囲】
上下方向±1.5mm
左右方向-1+1.5mm
前後方向+1.54mm

調整範囲

扉のあおりを調整する場合は、扉側アーム部分の上下2本のビスを緩めて、あおりを調整してください。各々4ヶ所のアームを調整してください。



あおりの調整
扉側の上下のビスを緩めて調整

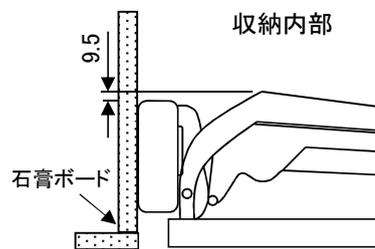
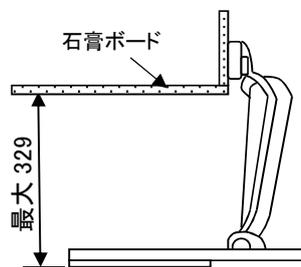


あおりの調整

- ポイント**
- ※調整の際に電動ドライバーは使用しないでください。
 - ※上下調整が必要な方の建具の縦枠に取り付いているすべての座金で、調整が必要となります。
 - ※両側の座金取り付け箇所調整操作が反転しますので、ご注意ください。
 - ※あおり調整する場合、一番上の丁番の上部と一番下の下部のビスは、短かめの手動ドライバーにて調整してください。
 - ※開閉はあまり勢いよくやらないよう注意してください。

取手・ビスキャップの取付け

扉の養生シートをはがし、金物箱に同梱されている取手を取り付けます。最後に同梱されているビスキャップを戸先側のみに取り付けます。取手・ビスキャップは建具金物箱に同梱されています。



開いた時の壁仕上面から扉の出寸法は329mmとなり(取手含む)、扉裏側の金物の出寸法は枠の端より9.5mmとなります。

- ポイント**
- ※取手の取り付けは手動ドライバーにて行ってください。
 - ※収納内部に棚板等を取り付ける際、枠の端から10mm以上はなした所に取り付けてください。